

別添6-5 (第3の2関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書 (令和2年度)

都道府県名 島根県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	6 経営体	6 経営体	100%	A	815,380	815,380	
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	1 経営体	0 経営体	0%	D			
<p>事業の成果</p> <p>県の定めたGAP認証制度である美味しまね認証の基本認証取得農場19戸のうち、令和2年度は重点指導対象農場6戸について、JGAP家畜・畜産物へのステップアップを図る目的で指導を行った。うち、1戸は美味しまね認証上位認証（上位認証の基準は最新のJGAPをもとに作成）を取得した。また、令和2年度中にJGAP取得を予定していた1戸については、新型コロナウイルスの影響により指導が十分に行えなかったことから、JGAP取得には至らなかったが、継続した取り組みを実施中である。なお、県機関内のJGAP指導員については、令和2年度末時点での目標育成数である36名を達成した。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>県の定めたGAP認証制度である美味しまね認証基本認証を取得している19戸の農場のうち、JGAP家畜・畜産物へのステップアップを図る目的で、令和2年度中に6戸の農場が取り組みを開始した。うち1戸は美味しまね認証上位認証を取得し、その他の農場についても継続した取り組みを実施していることから、今後のJGAP家畜・畜産物の取得農場の増加が期待される。また、令和2年度中のJGAP家畜・畜産物の取得を予定していた1戸についても、取得に向け、継続した取り組みを実施しており、今後の取得が見込まれる。なお、県内のJGAP指導員については、令和2年度末時点での目標育成数である36名を達成しており、県内各地域に指導員を配置することで、より効果的な指導体制を構築することが可能と考えられる。</p>							
<p>国による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・14名の指導員の育成により、県機関の指導員は36名（令和2年度末現在）となり、県内の畜産GAP指導体制の強化が図られた。</li> <li>・成果目標のうち畜産GAP等認証の取得拡大については実績がないことから、事業実施主体では令和3年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得等経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画を提出済。</li> </ul>							

別添6-5 (第3の2関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書 (令和2年度)

都道府県名 徳島県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	1 経営体	0 経営体	0%	D	99,000	99,000	
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	1 経営体	0 経営体	0%	D			
<p>事業の成果</p> <p>令和元年度より、肉用牛経営体1件でGAP取得チャレンジシステムへの登録を進めてきた。</p> <p>令和2年度においても新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら指導は行っており、今後、経営状況を勘案しつつ、将来的に畜産GAP認証取得を目指し、取り組みを継続していく見込みである。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により、肉用牛経営体は販売価格の低下や流通・販売経路の変更・転換に伴い経営危機に直面した。経営体が畜産GAPの必要性及び有用性を理解していても、経営状況の安定無くしては、畜産GAPに取り組めない。また、畜産GAP認証取得予定であった経営体についても、新型コロナウイルス感染症の影響により、当事業の活用に至らず、取り組みを進めることができなかった。</p>							
<p>国による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2名の団体認証指導員(内部監査員)の育成により、指導員は32名(うち内部監査員6名、令和2年度末現在)となり、県内の畜産GAP指導体制の強化が図られた。</li> <li>・成果目標は実績がないことから、事業実施主体では令和3年度に目標が達成(畜産GAP指導農業者数:1経営体、畜産GAP認証の取得等経営体数:1経営体)されるよう農政局へ改善計画を提出済。</li> </ul>							

別添6-5 (第3の2関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書 (令和2年度)

都道府県名 香川県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	3 経営体	3 経営体	100%	A	49,500	49,500	
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	1 経営体	1 経営体	100%	A	0	0	
<p>事業の成果</p> <p>日本版畜産GAPの認証取得を目指す畜産農家3戸(間島真司、合田政光、高橋畜産株式会社)を対象に、指導を行った。その結果、1戸(間島真司)が令和2年12月に、JGAP家畜・畜産物の認証を取得した。また、その他の指導対象であった2農家は、令和3年度以降もJGAP家畜・畜産物の認証審査受審を目指し、取り組む予定である。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>当初の目標は達成することはできたが、指導員資格者数(9名)に対して、JGAP家畜・畜産物の認証取得農家が1戸であるため、今後は、JGAP家畜・畜産物の認証取得農家が増えるよう農家支援に取り組んでいく必要がある。</p>							
<p>国による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1名の指導員の育成により、指導員は8名(令和2年度末現在)となり、県内の畜産GAP指導体制の強化が図られた。</li> <li>・成果目標の達成状況は計画どおりであることから、畜産GAPの拡大及び推進に寄与したものと思料。</li> </ul>							